

目標

「人に優しいまちづくり」と「ふるさと手稲づくり」

手稲区では、住んでいて良かったと実感できる

を目標として、4つの取組を進めてまいります。

① 安心して暮らせる まちづくりの取組

- ◆ 町内会等、災害時の「自助」「共助」の意識を高めることを目的に「防災リーダー」研修会の実施や地区防災計画の作成等を推進
- ◆ 地域住民、学校職員、区職員を対象に、実際の避難所で開設や運営を実施する、避難所運営研修を開催
- ◆ 災害発生時の相互支援を円滑に進めるための「地域防災事業者ネットワーク会議」を開催
- ◆ 災害時の要配慮者の避難支援に向けた、各地域での取組を支援
- ◆ 地域の防犯意識向上を目的に町内会関係者を対象にした「防犯活動講習会」を開催



防災事業者ネットワーク会議



防災リーダー研修

③ 地域活動の活性化を 支援する取組

- ◆ 町内会活動や地域を支える活動を支援するとともに、まちづくり活動などで活躍する人々の活動内容を区ホームページなどで紹介
- ◆ 町内会活動への参加促進や担い手づくりを支援するため、リーフレットや「ていぬ」啓発品の活用及び研修会を実施
- ◆ 地域住民のスポーツ交流を深めるイベント「スポーツ・レクリエーション祭」実行委員会を支援
- ◆ 区内の各種関係団体と連携・協力し、「ていぬ夏あかり」を開催
- ◆ 子どもたちの雪対策への意識を高めるため、将来のまちづくりを担う小学生を対象とした雪体験授業を実施



スポーツ・レクリエーション祭



ていぬ夏あかり

区役所のサービスアップ

- ◆ 多様な来庁者が居心地よく落ち着いて過ごせるよう、ユニバーサルデザインを導入した空間作りを実施
- ◆ 総合案内・おくやみ窓口と保健福祉案内員の体制及びリニューアルした案内サインで、迷わない区役所づくりを推進

② 子育てや健康づくりを 支援する取組

- ◆ 子育てしやすい環境づくりのため、子育てサロンの運営支援や子育て支援者とのネットワークの充実
- ◆ こそだてインフォメーションでの相談支援と情報提供の充実
- ◆ 子どもたちや若い世代の食育意識の向上のため、関係機関と連携した啓発活動を実施
- ◆ 北海道科学大学や企業、地域等と連携して、ウォーキングなどによる運動習慣の普及を促進
- ◆ 生涯現役で学ぶ意欲や生きがいを感じられる場を提供するため、稲苑大学（高齢者教室）を開催



お花見ウォーキング



こそだてインフォメーション

④ 手稲区の魅力を発信する取組

- ◆ 親子スキー教室や手稲山ウォーキング、手稲山プロモーション事業の実施などを通して、区のシンボルである「手稲山」の魅力を発信
- ◆ 富丘西公園のスズランや星置緑地のミスバショウなどの貴重な原生植物の保全活動を、地域の方々と共に実施
- ◆ 手稲区親善大使の三浦雄一郎氏、手稲区ふるさと大使の伊藤多喜雄氏を招いた地域の行事開催を支援
- ◆ 「ていぬく情報・文化発信コーナー」（ていぬの部屋）やTwitterにより、区のイベント情報・文化・魅力等を発信
- ◆ ていぬテーマソング、グッズの展示、地域行事での活用などを通じて、区マスコットキャラクター「ていぬ」の魅力を発信
- ◆ 手稲区への愛着を深めてもらうことを目的として、区内の小・中学校新一年生に「ていぬノート」を、出生届、婚姻届を提出された区民に「ていぬスポンジ」を提供



手稲山ウォーキング



ていぬの部屋

